

坂本 子供の教育です。現在保育園の手による育児が一般的ですが、これが子供を規格化しています。うちの子も隣りの子も変わりません。個性がないのです。

また情緒も持ち合わせておりません。こういうことでは、子供の将来が案じられます。

### 生涯教育の推進を期待する

有田 永い目で見て熊本はこうなる。あるいはこうあるべきだという夢を出して下さい。

現在見られるような急激に変化する社会情勢の中で、一方では情緒も残り、他方では調和にもとづいた開発も必要だというが……。

岡田 今の状態をあるべき白紙の状態にかえすことができたならそれが一番いいんではないかと……。

日本全体を考えた時、やはり中央都市圏というものはあっていいと思います。

そして、農業は農業、工業は工業というように担当地区を設け、そこに生活する人々は都市圏で生活する人達と同じように便利で快適な生活を享受できねばなりません。そのためには交通通信施設の整備など、今後の産業と生活のための基盤を整備してゆくことが必要だと思いま

す。

情緒ということから言えば、やはり農村は現在の集落という形を残すべきだと思います。ただ、生産と生活の場は別の方が望ましいですね。

住尾 工業が今日の経済成長の原動力となったのは事実ですが、正直言って、もうこれで良いという感じがあります。今後望まれる社会は、物心両面調和のれた社会、とりわけ心が優先される社会です。



▲子供は次代の宝 しっかりした教育が必要ですね

今、三十年先の食糧問題がとりざたされていますが危機に直面した時の人間の型が二通りあるように思います。一つは完全に利己的で他をかえり見ない人。残る一つは、お互い手をたずさえて苦境を乗りこえようとする人です。これは心の問題ですが、国なり県なりが今後教育という場でどのように対応してゆくかが来

たるべき危機に対して重要なポイントになると私は注目しています。真木 今、物より心と言われましたが、心の裏には文化があると思います。ただ日本文化というものは明治以来過少評価されてきたようです。日本本来の独自性のある文化に根ざしていなかったように思います。それが端的には成長至上主義



というようなことになったような気がします。

有田 今日皆さんがそれぞれの立場から、都市化、工業化という情勢をどう受けとめておられるのか、あるいは県に対してどんな要望を持たれているのか、また、郷土熊本のあるべき姿をどう描いていられるのかというようなことをお聞きしたわけです。

最後に「物心両面調和」という話がありましたけれども、それぞれ皆さん表現の違いはありますが、調和の社会というものを志向されているというのが結論のようです。

情勢は急テンポで変化しております。

このような変化に対応し、それを乗りき



るためには、県のよろしき施策の展開を期待しなくてはなりません、話しにもありましたように皆さんそれぞれの立場での自助努力も確かに必要だろうと思

います。皆さんの今後の健闘を祈ります。



▲農村の情緒は大切にしたいものです。

## 後継者対策

若き担い手に期待をこめて 県は次のような対策を講じております

### 農 業

#### 一、はじめに

経済の高度成長に伴い、農村あるいは農業は大きく変化し、殊に若い農業後継者の地すべりの減少は今後の農村、農業の基本的問題として憂慮されます。農業を近代化し、豊かな農村を築くものは「人」であり特に活力に満ちた青年農業者を数多く育成することが重要な課題であります。このため県においては、農業改良普及組織を中心に学校教育、各種農業者教育施設、市町村、農業団体等と協力し、青少年の成長過程に応じて概ね次のような体系により育成にあたっています。

#### 二、成長過程と育成の内容

- (一) 先ず就農動揺期(概ね十五〜十七歳)にある青少年に対しては農業を理解するための基礎的研修と仲間づくりについて援助しています。
- (二) 就農決意期(概ね十八〜二十歳)にあるものに対しては、農業に対する希望と意欲を喚起し、かつ技術的能力を高めるための専門的研修とプロジェクト活動を中心とした研究集団(4Hクラブ等)の育成を重点的に行っています。
- (三) 更に部分的経営参加期(概ね二十一〜二十五歳)においては、高度な生産技術、経営能力を高めるための応用研修と研究集団活動を進め、特にグループリーダーとしての能力を養成しています。

このため各種の対策事業を関係機関、